

倒れにくい イタリアンライグラス

早生品種

「ニオウダチ」

2倍体

命名の由来：金剛力士像（仁王様）が雄々しく大地を踏みしめるが如く、倒れにくい特性からです。

- 適期に刈取れなかった場合などは、茎が倒れて収穫が困難になったり、収穫物の品質が低下したりすることが問題でした。
- この問題を解決したのが「ニオウダチ」です（写真1）。



写真1 出穂期における倒伏状況

畜産草地研究所(栃木県那須塩原市)での試験

○栽培適地

関東地方から中国・四国・九州にかけての広い地域

○播種量（10a 当たり）

- ・秋播き：3.0～4.0/kg
- ・遅まきや春播きは5割増しとする。

- 倒れない強さの秘密は、①低めの草丈と稈長、②太くて強い茎にあります（図1）。試験場での刈取試験結果では乾物収量は低く出ていますが、機械刈りによる実質収量では倒伏による収穫ロスが少ない耐倒伏性品種のメリットが発揮されます。

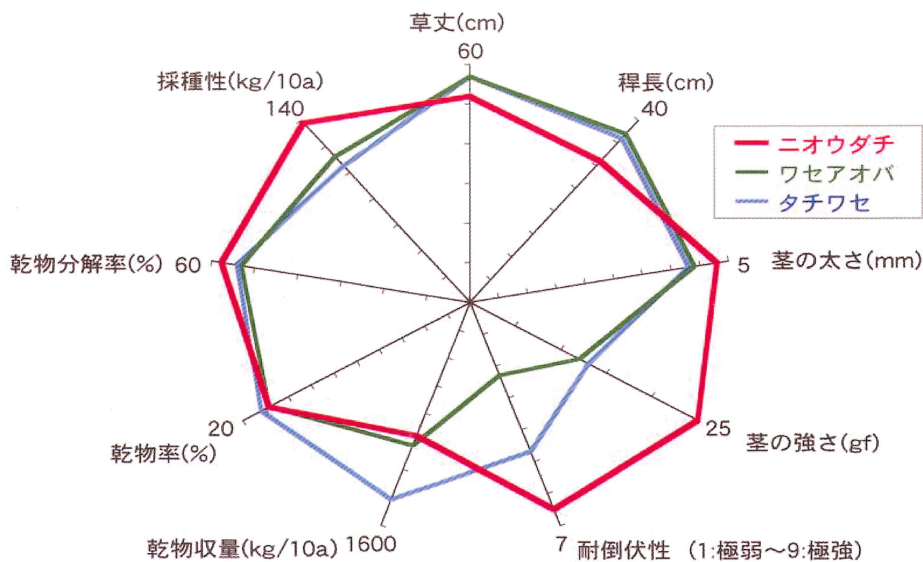


図1 主要2倍体品種と比較したニオウダチの特性

栽培方法は他のイタリアンライグラスと同じで、青刈り・採草・乾草利用に適しています。

刈取り適期は、耐倒伏性・栄養価・消化率の高い、出穂期(花粉がまだ出ないうちに)までに刈取るようにして下さい。出穂期の目安は写真2を参考にして下さい。

適地は関東地方から中国・四国・九州にかけての広い地域です。

特性が理解されて、年々、栽培者が増えています。(是非、お試しください)

ニ オウダチ種子の入手に関するお問い合わせ

いはわせは、農協・酪農協または(一社)日本草地畜産種子協会へお願いします。特性や栽培・利用方法に関するお問い合わせは、育成元である下記の畜産草地研究所へお願いします。



写真2 ニオウダチの刈取適期(出穂期)の草姿

【育成機関】 お問い合わせ先:

独立行政法人 畜産草地研究所 飼料作物研究領域

飼料作物育種工学研究グループ TEL:0287-37-7552(直通)